



はぐくみ

Hug

Kumi

思いをつなぎ
思いをむすび
思いをつむぐ
家庭教育通信



発行者：
釧路市家庭教育支援チーム
発行日：
平成 28 年 3 月 23 日 第 8 号

家庭教育推進員

※3月末のご退任に伴い、今回が最終回となります。
4月からは新コーナーが掲載予定です。

◆ 日野先生の子育てミニ講座

最終回 『通学路での安全確保』のために



毎日楽しいはずの通学路、しかしそこには子どもを狙う不審な目や交通事故といった危険が潜んでいます。

保護者の皆さんには、このことを再認識していただき、お子さんと一緒に通学路の危険確認をおこなっていただきたいと思います。

● 通学路の危険確認

警察庁によりますと、小学校1～2年生が歩行中に交通事故に遭う人数は、入学・進級当初の4月よりも学校生活に慣れ始めた5～7月に増える傾向があるとのこと。また、下校時間帯の道路横断中や自宅近くで事故が多く、特に1年生の場合は自宅から500m以内で約7割以上が被害に遭っているということも分かりました。

子どもの目線は、私達大人よりもかなり低い位置にあります。ぜひ、学期に一度はお子さんと一緒に通学路を歩き、子どもと一緒に目線を見た、見通しの悪い交差点や交通量の多い道路といった危険な場所の確認を行っていただきたいと思います。

● 危険からの回避

不審者対応マニュアルの一つに大きな声を出してその場から逃げるというのがあります。しかし、実際に不審者に遭遇した場合で大きな声を出せるかというと、大人でも簡単ではなく、子どもであれば尚更困難だと思います。

そこで、子どもと一緒に通学路の子ども110番の店や家などを確認しておくことや、日ごろから声を出す訓練をすることが大切です。子どもの前で保護者が不審者の役を演じ、子どもが周りの人に大きな声で身の危険を知らせる、こうした訓練を家庭で繰り返すことで、子どもは声を出して危険を回避する力を身に付けることができるようになるのではないのでしょうか。

今は多くの校区で、通学路の子どもの安心・安全の確保を目指し、たくさんの地域ボランティアの方々に子どもの登下校を見守る活動をおこなっていただいております。大切な子どもの命を地域みんなで守り、育むという思いに応えるためにも、ぜひご家庭でも取り組んでいただきたいと思います。

(ひの)

◆ 季節の野菜を使ったレシピ

いろいろ野菜のビーフン【2人分】

- ◇ 材 料 菜の花 1 束、黄色と赤のパプリカ 1/2 個、人参 1/3 本、しいたけ 2 枚、ベーコン 2 枚、エビ 2 本、ごま油少々、市販のビーフン 1 袋
- ※ビーフンは調理する前に袋ごと軽く砕いておく
- ◇ 作り方
- ① 材料はすべてみじん切りにしておく
 - ② フライパンにみじん切った材料と、その上にビーフンをのせ、水 200cc 入れ蓋をする
 - ③ 中火で 5 分、蒸し焼きにする（硬さは好みで）
 - ④ 蓋を取り火を止め、ごま油を少量ふりかけ、さっと混ぜてできあがり



※菜の花の「菜」は食用の意味で、菜の花は食用の花です。少し苦味がありますが、食物繊維が豊富で栄養価の高い緑黄色野菜です。
菜の花の胡麻和えも添えてみました！

(なかい)



くしろっ子 共に育てる 10 か条 学びの10か条コーナー

第4条 失敗おそれず レッツ・チャレンジ



「失敗おそれず レッツ・チャレンジ」なぜこのことが子どもの生活にとって大切なのでしょうか？そこには思考と試行そして学びと獲得があるからだと思います。

たとえば鉛筆を削るとき、私たちが子どもの頃には小刀（多分「肥後守」だったはず）を使って削っていた記憶があります。上手に削るにはどうしたら良いかを考え（思考）、実際に削ってみる（試行）。上手く削られなかった時には、あれこれ考えを巡らし、またやってみる。

ときには刃の当て方を間違っ指先を切るといった失敗もありましたが、一つ確実に言えることは、この痛さと失敗の中から小刀の危なさを学んだことです。二度と痛い思いをしないためにはどうすれば良いかを考え、繰り返す。繰り返し挑戦することで自然と刃物を安全に使う技能を身に付けていく。そこには学びの活動である

思考と試行、学びと獲得がありました。

挑戦とは、学校で学んだ知識や技能を活用し、五感を総動員させて感じ取ることであり、そこには確実に失敗から学ぶ工夫と創造があります。

子どもには失敗を恐れずに挑戦することを大切にしてもらいたいです。



失敗おそれず レッツ・チャレンジ!!

(ひの)

◆ ぐらしの歳時記



このコーナーでは、日本の年中行事や五節句（五節句）、例えば3月3日（上巳）、5月5日（端午）、7月7日（七夕）などの由来を紹介してきました。今回は、年度の始まり「4月」についてご紹介します。

冬を越え、桜の蕾が花開く4月といえば入学の季節ですが、なぜ日本の学校では入学が4月なのか、その由来を調べてみました。

日本の学校制度は、明治初期にヨーロッパに学んだものであり、元々は9月が新学期だったそうです。

その後、「国の会計年度が4月になり、補助金をもらっている学校は、徐々にそれに合わせた」、「陽気が子どもの健康に良いと考えられた」という、2つが大きな理由として考えられると文部科学省に記録されているそうです。

明治25年に師範学校、明治33年に小学校、そして大正7年に大学がそれぞれ4月始まりとして制度化されました。

満開の桜の下、入学の季節を機に新しいことにチャレンジしてみませんか。

芽吹きのはらは、人生の門出にふさわしい時期です。



(なかい)

◆ 家庭教育講座「ほわっと」を実施しています（1月・2月分のご紹介）。

1月24日（土） 鉄道弘済会釧路保育所

昨年に引き続き開催していただきました釧路保育所さんでは、休日にもかかわらず20名の保護者のほか、先生方にも参加いただきました。

まず、データをもとに**よく食べ、よく眠り、よく体を動かす**ことの大切さを再確認した後、**子育てふりかえりカード**を使って参加者間で情報交流をおこないました。

参加の皆さまには熱心に講話を聞いていただき、積極的に情報交流もしていただきました。アンケートにもたくさんのご感想をいただきました。



1月26日（月） 山花小中学校 PTA 研修会

昨年に引き続き開催していただきました山花小中学校では、20名の保護者、先生に参加いただきました。

全国の子どもの実態を確認した後、2つのグループに別れて**ワークショップ**をおこないました。まず、保護者や先生方から見た山花の子どもを意見交換し、そのうえでみんなで山花っ子を育てるために推奨することを考え、積極的に意見交換していただきました。講師からは、**しっかり食べて、しっかり体を動かし、しっかり眠る山花サンS運動**を提唱させていただきました。



2月26日（金） 青葉小学校 PTA 研修会

昨年に引き続き開催していただきました青葉小学校では、夜の実施にもかかわらず14名の保護者の皆さまに参加いただきました。

まず、子どもの心を育てる保護者のかかわり方について、なかなかゲームをやめようとしないう子どもに対する具体的な場面を想定した**ロールプレイ**をおこないました。その後、学校とのかかわり方として、**日ごろから学校に通うことの大切さ**について学びを共有しました。



エプロン、プレゼント！

『ほわっと』を活用いただいた団体様に、オリジナルのエプロンをプレゼントさせていただきます。ぜひ、ご活用下さい！！



◆ たくさんのご参加ありがとうございました

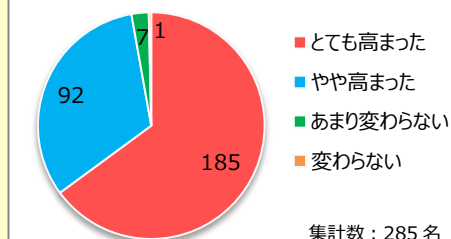
（にじでて）

今年度もPTA研修会や参観日等の機会を活用させていただき、16の幼稚園・保育園・小中学校等で講座を実施することができ、全部で375名の保護者、先生方にご参加いただきました。また、講座のグループワークの際や終了後のアンケートでは、たくさんのご意見・ご感想をいただきました。

今年度も、昨年度に引き続きグループワークや体験活動に加え、新たにロールプレイによる講座を行わせていただきました。また、各校研修部のご協力により、カフェスタイルによる講座を実施させていただくことができました。

アンケートの結果を踏まえ、来年度もより多くの皆さまに、より充実した講座を受講いただけますよう取り組んでいきたいと思っておりますので、今後も活用・参加のほどよろしくお願い申し上げます。

家庭教育に関する関心は高まりましたか？



今後聞いてみたい講話

食育について、いじめに関すること、感情のコントロールの仕方、子どもが非行に走った時の対処法、ゲームについて、スマホやネットの上手な関わり方、色々なことを聞いてみたい など…

カフェ形式&グループワーク 山花小中

カフェ形式&グループワーク 釧路小

カフェ形式&ロールプレイ 青葉小

親子参加&体験活動 ふたば幼稚園

〒085-0016

釧路市錦町2-4 釧路フィッシャーマンズワークMOO4 階
釧路市教育委員会 教育支援課 教育支援担当

電話：0154-23-5189

FAX：0154-25-5999

E-mail：kyo-kyouikushien@city.kushiro.lg.jp

◆ 本作作成担当者：西館・日野・中井

釧路市 家庭教育



● 釧路市のホームページもご覧ください



釧路市教育委員会では、「早寝・早起・朝ごはん」運動を奨励しています。

◆ 編集後記

家庭教育通信『はぐくみ』も3年目を迎えようとしています。

幼稚園に例えるなら、ようやく年長さん！子育てをがんばる方を優しく包み込むといった紙面づくりに努めてきましたが、ふりかえてみると反省ばかりが目につきます。

しかし、毎号担当者3人で行う編集会議にはいつも笑顔があり、楽しく執筆できました。手前味噌ですが、**書き手が楽しくなければ、読み手が楽しいはずはない**といった思いはしっかり共有されました。年長さんになった『はぐくみ』これからも皆さんの愛で育てていただきたいと思います。（ひの）